

北地域まちづくり新聞

(発行) 大口町北地域自治組織 (協力) 大口町 地域協働課

かわら版

第100号記念

2021.3.1(発行)

地域委員会を開催

1月に各地区で第3回地域委員会を開催しました。

今回の地域委員会では、令和2年度事業実績の報告と令和3年度事業計画(案)、行政区と地域自治組織の一体化について、そして令和3年度役員決めと意見交換が行われました。

《意見の一部を紹介します》

- ・特定の場所でごみのポイ捨てが多く、地区独自に作成した啓発看板を設置したところ、1つの箇所ではポイ捨てがなくなった。
- ・行政区と地域自治組織の一体化について、もう少し具体的に詳細を知りたい。
- ・土木工事関係については、行政区と役場が直接交渉できるようにして欲しい。依頼内容の重要性や地区の熱量や本気度が、地域自治組織経由では役場に伝わらない。
- ・交通渋滞や水害等、行政区だけでは取り組めない課題がある。これらの課題は、地域自治組織の利点をいかした面での捉え方ができる。うまく運用して欲しい。
- ・令和2年10月17日(土)に実施した安否確認訓練の集計結果で、全世帯の白いタオルの有無が確認できていた。(外坪地区)
- ・転入された方に、暮らしていく上での区や組との関わり合いや、区費・組費等の必要性を説明し、区や町とも協力して組に入ってもらおうよう進めていきたい。

江南警察署長から感謝状

令和3年1月4日(月)に、江南警察署長より北地域自治組織に感謝状をいただきました。

これは、警察業務への深い理解と警察運営に貢献したことに對してのものです。

今後も、地域の防犯や交通安全の啓発に取り組んでいきたいと思ひます。



私たちは、大口町北地域自治組織とともにまちづくりに取り組んでいます。

堀尾史蹟顕彰会

4/4 堀尾社例大祭 午前11時

お問い合わせ 顕彰会事務局 95-3121

LOKUMA
OPEN POSSIBILITIES

「ものづくりで可能性を切り拓く」ということ。

福祉部会勉強会

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っていた「福祉講座」や「福祉の集い」のような多数参加によるイベントを自粛し、福祉部会会員の知識向上のための勉強会を行いました。4回の勉強会で学んだことを、来年度の福祉部会でどのようにいかしていくかを、今後の課題としていきたいと思えます。



第2回 令和2年10月

「障がい者について地域でできること」

～講師：地域包括支援センター職員～

障がいには、身体障がい、知的障がい、精神障がい等があり、大口町には全人口の4%の割合の方が住んでいることを知りました。そうした中で地域に住む私たちができることは、声掛けなどのちょっとした配慮や心遣いです。できることからしていきましょう。

お困りの方は、地域包括支援センターへご連絡ください。

第4回 令和2年12月 社協の取り組む

「社会福祉事業について」

～講師：社会福祉協議会職員～

社会福祉協議会では、ふれあいサロンやボランティア支援などの地域福祉活動を通じて地域住民の皆さんと一緒に「支え合いの地域づくり」を進めています。また、病気や障がい、貧困などで生活に困っている住民の方から相談を受け、困りごとの解決や家計のやりくりのお手伝いも行っています。

・第1回 令和2年9月 「地域包括ケアシステムについて」

～講師：健康生きがい課職員（北地域まちづくり新聞 第96号掲載）～

・第3回 令和2年11月 「生活支援と介護予防について」

～講師：地域包括支援センター職員（北地域まちづくり新聞 第97号掲載）～

感謝の気持ちが届きました～自転車教室～

令和2年11月12日（木）に実施した自転車教室の感想や感謝の言葉を綴った冊子が、北小学校4年生の児童の皆さんから届きました。

新しく学んだことや注意することなどが具体的に書かれていて、楽しく体験しながら交通安全を学べたことがよく伝わってきました。

☆感想の一部を紹介します☆



踏切は自転車から降りて、引いて渡ることにびっくりしました。



止まっている時は、車が通る反対側に自転車と体を傾けるといことがわかりました。



自転車教室で学んだことをいかして、大口町の死亡事故を一人でも減らせるようにしたいです。

